

宝満山～立花山 ～灼暑低山ロングは消耗戦～

【報告者】T橋

【日時】2017年5月19日

【天候】晴れ

【参加者】T橋

《コースタイム》

自宅0515－竈門神社0625－宝満山0715－三郡山0750－前砥石山0825－若杉山0918
－岳城山1015－切通－乙犬山1130－JR門松－長谷ダム登山口1330－三日月山
1420－立花山1445－松尾山－白岳－下原バス停1545

《報告》

うーん、結果的には予定通りの行程を歩き切ったが、どうも「やった感」というより「やっちゃまった感」が強い。もし今、山行前の自分に会えるなら「もう少しよく考えろ」と言いたい。

「竈門神社から若杉山まで3時間が目安」というネット記事を見てしまったのも間が悪いというか。タイムに心乱されるランナーの性か、朝の涼しさと平日の人の少なさで快適な縦走路をいいペースで飛ばし、確かに3時間は切れたが脚はすでにパンプ気味。ここから篠栗に降りるなら良いトレーニングで終わるが、行程はまだ半分も来ていなかった。

唯一はっきりしていなかったのが、岳城山から乙犬山というマイナー低山ルート。遠回りする林道を行けば済む話だが、そこは（今度は）山ヤの性か、尾根や沢にショートカットを求めてしまう。展望台からすぐに草に埋もれる木の階段を見つけ、藪をかき分け進むと赤テープ。あまり踏まれていない柔らかい土の急斜面を下ると砂防堤から林道へ合流。確かにショートカットにはなったが、また使うかと言えば微妙。

切通から乙犬山へは思ったより快適。ただ九電の作業路分岐が紛らわしいので方向注意。乙犬山からの下山路でロスト。伐採された倒木で道が不明瞭で、コンパスを睨みつつ下るが最後は見えた人工物目指して草をかき分けると旅石公園。下りたかった乙犬八幡宮よりやや東に反れていた。

ここからは町中を抜けて三日月山の取付きまで5km。コンビニでアイス、ジュースを補給するものの、真昼の直射日光とアスファルトの照り返しが強烈。消耗を抑えるためにわずかな日陰や高架下で休みつつ歩く。

最後の自販機で補給をし損ない、少ない飲み水で三日月山へ取付く。山中は多少涼しいが脚は重く、下山したらまず水風呂で全身アイシングしたいと考えながら歩く。そうこうするうち三日月山を感慨なく通過する。

最後の急登を越えると大展望の立花山。水の代わりに口にしたジェルを受け付けず吐き気がしたので、日陰で少し横になる。平日の15時に単独登山者が5、6名、皆それぞれたたずんで福岡市街を眺めている。いい時間ようだ。

やや落ち着いたところを見計らい松尾山、白岳を經由して下原に降る。停まっていたバスにそのまま飛び乗る。JR香椎で降りたとき、このヨレヨレ具合でDrのクリニックに顔出したら何て言うだろうとちょっと考えた。

